

第9回 台東区子供歴史・文化検定 解答と解説（中学生用）

解説文の最後に、参考として『台東区歴史・文化テキスト 改訂版』と『台東区歴史・文化テキスト 第三版』の頁数を掲載しています。

平成30年度 台東区教育委員会

問1.

解答 ウ

解説 ^{じょうもん}縄文時代は、今から約1万5千年前から始まったと考えられています。
^{こふん}古墳時代は、3世紀の中ごろから始まりました。(改訂版9頁、第三版13頁)

問2.

解答 ア

解説 縄文時代とは、土器の表面に^{なわめ}縄目の文様がついていた縄文土器を使用していたことから名づけられました。(改訂版9頁、第三版13頁)

問3.

解答 ア

解説 古墳時代の人々は、地面を掘り下げ、柱を立てて、ワラやカヤなどで屋根をふいた、竪穴住居に住んでいました。イの長屋は江戸時代、ウの文化住宅は大正時代から建てられ、エのアパートメントハウス(アパート)が最初に建てられたのは明治時代のことです。(改訂版10頁～11、第三版14～15頁)

問4.

解答 エ

解説 アの鎌倉幕府は^{みなもと}源頼朝が鎌倉に、イの室町幕府は^{あしかが}足利尊氏が京都に開きました。^{おだ}織田信長は安土に城を築きましたが、幕府は開いていません。(改訂版14頁、第三版18頁)

問5.

解答 イ

解説 江戸時代初めの^{そうけん}寛永寺創建の時に、^{てんかい}天海僧正によりつくられました。(改訂版17・75頁、第三版21・97頁)

問6.

解答 工

解説 とくがわよしのぶ 徳川慶喜がかんえいじ 寛永寺にきんしん 謹慎したことによって、しょうぎたい 彰義隊も上野の山に立てこもりました。しかし、5月15日、官軍のそうこうげき 総攻撃を受けてわずか半日で敗れ去りました。(改訂版23頁、第三版27～28頁)

問7.

解答 イ

解説 江戸市中に最初に建てられた東照社(東照宮)は、浅草の浅草寺の境内に1618(元和4)年につくられました。(改訂版16頁、第三版20頁)

問8.

解答 イ

解説 国民学校初等科の3年生から6年生の児童らは、学童そかい疎開の対象になりました。下谷区の学校は福島県、浅草区の学校は宮城県に疎開しました。あいづみさと 会津美里町は当時のえん疎開先の縁で友好都市になりました。(改訂版31～33頁、第三版39～42頁)

問9.

解答 ウ

解説 関東大震災では、下町の住宅密集地を中心に火事で多くの住宅が焼けてしまいました。その後学校をつくる時に、学校の隣となりや近くに公園を設けることによって、ひなん避難場所としました。(改訂版30～31頁、第三版38～39頁)

問10.

解答 工

解説 寛永寺の「時の鐘^{かね}」は大仏の正面に設置されています。現在でも1日3回、朝夕6時と正午に時刻を告げています。浅草寺の「時の鐘」は弁天山に設置されて、1日1回朝6時に鳴らされています。

(改訂版54頁、第三版67頁)

問11.

解答 イ

解説 安政の大地震では、多いものでは10万人の死者が出たという記録もあります。関東大震災は大正時代に起こった地震です。(改訂版52頁、第三版64頁)

問12.

解答 ウ

解説 瓦版は、江戸時代から明治時代にかけて数多く摺^すられた、現在の新聞や雑誌などにあたる大衆向けの印刷物でした。(改訂版55頁、第三版67～68頁)

問13.

解答 工

解説 ペットボトルが日本で使われるようになるのは、昭和時代になってからのことです。(改訂版47頁、第三版58頁)

問14.

解答 ア

解説 江戸の町には上水道が引かれ、町中には石や木でできた樋^{とい}を地中にうめて、水をその中に流して使用しました。(改訂版39～40頁、第三版49～50頁)

問15.

解答 ア

解説 区内には浅草広小路や下谷（上野）広小路などの火除地がありました。
（改訂版80頁、第三版102頁）

問16.

解答 エ

解説 下谷池之端に置かれた榊原家の屋敷がもっとも古い大名屋敷だといわれています。（改訂版81頁、第三版103頁）

問17.

解答 ウ

解説 橋がかかっていると、そこから敵が攻めてきやすくなるため、あまり橋がかかけられませんでした。そのため、人々は渡し舟で川を渡りました。（改訂版74～75頁、第三版95～96頁）

問18.

解答 エ

解説 はやかわのりつく早川徳次は東京地下鉄道株式会社を創業し、現在の東京地下鉄ぎんざせん銀座線の上野～浅草間2.2キロでえいぎょう営業を始めました。当時、東京で人の行き来が一番多かったこの区間が選ばれました。（改訂版151頁、第三版186頁）

問19.

解答 ウ

解説 門前町が成立することによって、その周辺も発展し、市街地化がいつそう進むという効果もありました。（改訂版83頁、第三版105頁）

問20.

解答 ア

解説 五街道の出発地点は日本橋です。(改訂版68頁、第三版87頁)

問21.

解答 ア

解説 天海が取り寄せた桜は、奈良県の吉野山にある山桜^{やまざくら}でした。その後、上野には多くの人が桜を植樹^{しょくじゆ}し、その様子が歌に詠まれたり、絵に描かれたりするようになりました。現在上野公園で多く見られる桜は、ソメイヨシノという種類^{しゆるい}ですが、これは江戸時代に江戸近郊の染井村^{そめいむら}で品種改良^{ひんしゆ}されたものです。(改訂版18頁、第三版22頁)

問22.

解答 エ

解説 浅草神社は、檜前浜成^{ひのくまのはまなり}、竹成兄弟^{たけなり}と、土師中知^{はじのなかとも}をまつた神社です。このことから三社様として親しまれています。(改訂版112頁、第三版141頁)

問23.

解答 ウ

解説 年末の酉^{とり}の市では「福を搔^かきこむ熊出^{たふく}」として、お多福や千両箱、稲穂などをつけた熊手が縁起物^{えんぎもの}として境内で売られています。(改訂版96頁、第三版124頁)

問24.

解答 ウ

解説 吉宗は飢饉^{ききん}や病などの災厄^{さいやく}の中で死者の慰霊^{いれい}と悪霊退散^{あくりょうたいさん}を祈り、隅田川の水神祭りを催^{もよお}しました。また、それに合わせて花火を披露^{ひろう}しました。これが今の隅田川花火大会につながっています。(改訂版 94 頁、第三版 122 頁)

問25.

解答 ウ

解説 明治時代に盛んだった朝顔市は、1913 (大正2) 年に途絶^{とた}えましたが、1948 (昭和23) 年に復活し、入谷鬼子母神 (真源寺) 境内を中心に朝顔を売る店が立ち並んで昼夜賑^{にぎ}わっています。(改訂版 94 頁、第三版 122 頁)

問26.

解答 エ

解説 熊谷安左衛門が、罊^{わな}にかかったキツネを救ってあげると、のちにキツネ一族から感謝されて盗難除^{じゆもん}けの呪文を授かり、盗難除^{じゆもん}けのお札を売り出したといういい伝えがあります。(改訂版 97 頁、第三版 125 頁)

問27.

解答 ア

解説 大根は待乳山聖天^{まつちやましようてん}のシンボルにもなっていて、毎年1月7日には大根まつりが開かれます。(改訂版 100 頁、第三版 128 頁)

問28.

解答 ア

解説 下谷神社はその昔正宝院稲荷といわれ、お稲荷様をまつていました。
今でもたくさんのキツネの像を境内で見ることができます。(改訂版110～111頁、第三版139～140頁)

問29.

解答 ア

解説 ^{おぎょう}御行の松の名は、寛永寺住職の輪王寺宮がこの木の下で修行をしたところから名づけられました。(改訂版102頁、第三版130頁)

問30.

解答 ウ

解説 この4社の中で、かつて今の上野公園にあったのは小野照崎神社のみです。(改訂版109～110頁、第三版139頁)

問31.

解答 ウ

解説 江戸時代には、今のかっぱ橋道具街通りを新堀川が流れていました。現在、かっぱ橋道具街通りの南側の通りを新堀通りと呼んでいます。(改訂版101頁、第三版129頁)

問32.

解答 工

解説 池波^{しょうたろう}正太郎は昭和時代を代表する時代小説の作家です。戦後は、台東区役所に勤務するとともに劇作家を目指しますが、しだいに小説家として活躍^{かつやく}するようになり、1960（昭和35）年『錯乱^{さくらん}』で直木賞を受賞しました。（改訂版136～137頁、第三版169頁）

問33.

解答 ウ

解説 幕府^{ばくふ}から命令を受けた天文学者の高橋^{たかはしよしとき}至時は、浅草天文台^{かんそく}で星の観測を続け、寛政^{かんせい}の改暦^{かいろき}を完成させました。（改訂版114～115頁、第三版144～145頁）

問34.

解答 イ

解説 忠敬^{ただたか}の時代には飛行機はありませんでした。飛行機が実用化されたのは、20世紀に入ってからです。（改訂版117～119頁、第三版148～149頁）

問35.

解答 工

解説 幸田^{こうだろはん}露伴は明治から昭和にかけて活躍した小説家です。理想主義^{りそうしゆぎ}的作風をもって尾崎^{おさきこうよう}紅葉とともに「紅露^{こうろ}時代」と呼ばれる一時代^{きず}を築きました。（改訂版135頁、第三版167頁）

問36.

解答 イ

解説 アは西郷隆盛の像、ウは上野大仏の残された顔、エは野口英世の像です。
(改訂版141頁、第三版173頁)

問37.

解答 ウ

解説 江戸時代後期に多く輸入、^{ほんやく}翻訳された洋書は、主にオランダ(和蘭)から輸入され、オランダ語で書かれた書物でした。また、浅草橋には幕府の研究機関であった^{てんもんがた}天文方や^{ばんしょ わげごよう}翻訳機関の^{ばんしょ}蕃書和解御用が置かれていたため、多くの学者が集まってきました。
(改訂版114頁、第三版144頁)

問38.

解答 ウ

解説 ^{と き ぜんまる}土岐善磨は、^{つと}読売新聞社に勤めていた時に、^{せんと}東京遷都50年の記念博覧会協賛事業として、初の^{かいさい}駅伝の^{じんりょく}開催に尽力しました。(改訂版136頁、第三版168頁)

問39.

解答 ア

解説 横山大観は好んで富士山の絵を描いたことで有名です。(改訂版129頁、第三版160頁)

問40.

解答 ア

解説 ロッシュは^{ちゅうにち}駐日フランス公使、パークスは駐日イギリス公使、ゴローニンはロシアの^{くんかん}軍艦「ディアナ号」の船長です。(改訂版134頁、第三版166頁)

問41.

解答 工

解説 葛飾北斎は江戸時代後期の代表的な浮世絵師です。区内で亡くなり、誓教寺にお墓があります。(改訂版123～124頁、第三版154～155頁)

問42.

解答 イ

解説 凌雲閣には日本で最初につるべ式エレベーターが設置され、8階まで見物客を乗せていました。(改訂版153頁、第三版188頁)

問43.

解答 イ

解説 ^{はくらんかい}博覧会は産業や文化が^{はってん}発展するのに大きな^{やくわり}役割を果たすことから近代化政策を進めていた明治政府は、博覧会を^{かいざい}開催することにしました。それが内国勸業博覧会で、上野では3回行われました。(改訂版146頁、第三版178頁)

問44.

解答 工

解説 大正時代に初めて設置された信号機は、^{けいさつかん}警察官が手動で^{そうさ}操作する木製の信号機でした。電灯式信号機が^{ふんきゅう}普及したのは、昭和時代に入ってからのことです。(改訂版153頁、第三版188頁)

問45.

解答 ウ

解説 ソメイヨシノには明治時代まで正式名称がありませんでした。しかし、上野の博物館員藤野寄名によって命名されました。(改訂版145頁、第三版177頁)

問46.

解答 エ

解説 代表的な句は「柿食へば鐘がなるなり法隆寺」です。(改訂版166頁、第三版211～212頁)

問47.

解答 ウ

解説 樋口一葉も、瀧廉太郎も同じ病気で、同じ年齢で亡くなりました。(改訂版131・161頁、第三版163・197頁)

問48.

解答 ア

解説 旧東京音楽学校奏楽堂は、現在は上野公園内に移築されています。東京音楽学校の本館として建てられた奏楽堂では、今でも演奏会などに使用されている日本で最も古い木造式音楽ホールです。(改訂版164頁、第三版192頁)

問49.

解答 イ

解説 下町風俗資料館では、明治・大正・昭和時代の初めころの下町の町並みを再現しています。(改訂版159頁、第三版193頁)

問50.

解答 エ

解説 朝倉文夫は、彫刻の中でも彫塑という制作方法にこだわりました。朝倉彫塑館はそこから名づけられました。(改訂版163頁、第三版195頁)

MEMO